

◎補足説明資料（別紙）

○公立病院として本院の果たす役割

＜新公立陶生病院改革プラン P 3～4 参照＞

急性期医療を担う尾張東部医療圏唯一の公立病院として、本院は、次に掲げる政策的な医療、採算性の面から民間医療機関では困難な医療並びに地域医療計画で位置付けられた5疾病5事業（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患と救急医療、災害時医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）に係る医療及び在宅医療を提供し、また、地域医療支援病院として地域医療を支える人材の育成を図る等、安全安心の地域医療を確保するために必要な役割を果たしています。

救急医療
救命救急センターとして、24 時間 365 日対応の第三次救急医療を提供しています。
がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、病院全体で手術、抗がん剤投与、放射線治療の組み合わせや緩和医療を含む専門的ながん診療を提供するとともに、医療機関の医師相互の症例相談、診断依頼への対応等連携による地域のがん医療を推進しています。また、収集した総合的ながん情報や治療内容、臨床研究の成果等を地域に発信するとともに、地域住民に対する相談支援体制を提供しています。
周産期医療・小児医療
新生児集中治療室（NICU）を備える地域周産期母子医療センターとして、妊産婦及び新生児の特性に応じた医療を提供するとともに、ハイリスク症例の母体搬送、緊急手術に24 時間体制で対応しています。また、幅広い小児疾患に適切に対応するために、頻度の高い疾患分野の専門性を高め、的確な標準治療を進めています。
脳卒中、循環器疾患、糖尿病医療及び精神疾患
当該医療圏の医療計画の中で、脳卒中、急性心筋梗塞については高度救命救急医療機関、糖尿病については専門治療、合併症治療及び教育を担う糖尿病専門病院、精神疾患については精神科外来診療を行う医療機関として位置付けられており、分担と連携による的確な医療を提供しています。
災害時における医療等
災害拠点病院（地域中核災害医療センター）、災害派遣医療チーム（DMAT）の指定を受けており、災害時には重症患者の受入れ、DMAT の派遣、地域医療機関への応急用医療資材の貸出し等の医療救護活動を中心的に行います。

感染症医療
当該医療圏唯一の結核病床と感染症病床を維持し、感染症に対する的確な医療を提供しています。
高度・先進医療
地域の民間医療機関にない最新の医療機器や医療技術による高度かつ先進的な医療を提供し、地域の医療水準の向上に努めています。
地域医療の支援
地域医療支援病院の承認を受けており、急性期医療を中心に幅広い診療機能を持つ地域中核病院として、地域の医療機関との連携と機能分担により、地域完結型医療を提供しています。また、地域の医療従事者の資質の向上を図るため、研修、教育、後方支援を行っています。
医療従事者等の育成
ア. 臨床研修指定病院として医師の研修や人材確保に努めるとともに、看護師、薬剤師等の養成学校の指定実習病院として、医療従事者の育成に努めています。また、救急隊員に臨床実習等の指導を行い、救急救命士の育成を支援しています。 イ. 地域のキャリア教育への講師の派遣、中・高生の体験学習の場の提供等を通して次世代の医療に関わる人材の育成に取り組んでいます。
地域住民の健康保持への取り組み
地域住民の健康意識の向上や疾病予防知識の普及向上を図るため、市民フォーラム、健康まつり等に参画している他、公開医療講座、豆知識講座を定期的に開催しています。